

タチアマモ

Zostera caulescens Miki

アマモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県下ではまれな植物で、減少傾向にある。(現況:R-)

形態

根茎から長い枝が出て水中に立ち上がり、枝の下部には花序を着けるが、上部には葉のみを着ける。アマモに類似するが、本種は、葉の幅が10~15mmで広い点で区別できる。葉には9本の葉脈がある。

国内分布

北海道、本州中部以北に分布。朝鮮にも分布する。

県内分布

内浦区の1産地があるのみ。

生態など

深さ6~10mの砂地の海底に生育する。

生育環境

石川県の場合は、残存しているものは湾口の海底。

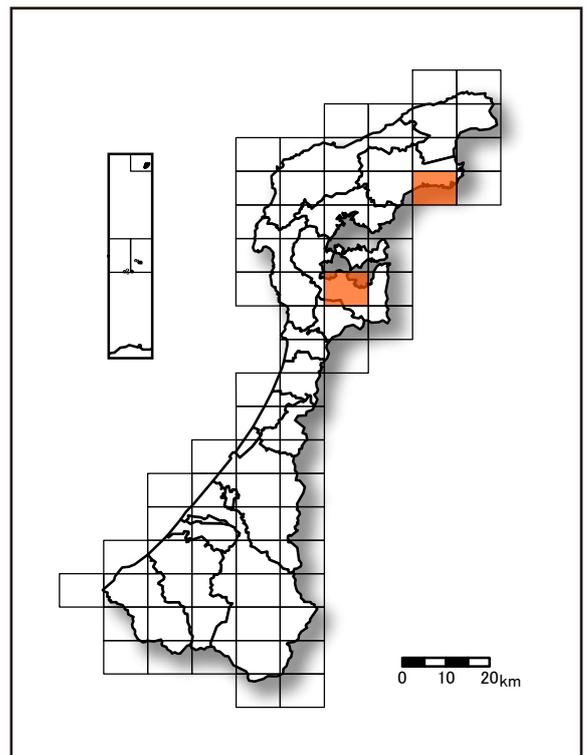
危険要因

産地局限、海岸開発、水質汚濁、自然遷移。

特記事項

すでに、九十九湾湾奥、七尾湾石廊港の2産地を失った。

写真(図)はありません。



県内の分布